

同窓会報

第22号
 昭和63年 8月1日
 社団法人
 上田高等学校同窓会
 印刷所 株式会社
 田辺印刷株式会社
 (発行部数 21,000部)

寄付金の一部を活用して 教育施設大いに充実

同窓会理事長 金子 八郎 (39期)

一昨年の総会に於て、新しくご参加をいただき、何十年ぶり
 代表委員会の設置をご承認いただ
 き、昨年度はこの代表委員会にお
 ける発案と関係者の熱心な活動
 によって、従来とは全く趣を異
 にした第一回会員大会(総会)
 を、母校の松尾祭にあわせて開
 催致しました。女性を含め幅広
 い年次から三百名近い同窓生の
 ご参加をいただき、何十年ぶり
 の同窓会の変身であると、ご好
 評をたまわりました。
 また上田松尾時代より三十年
 を経ての二度目の野球部甲子園
 出場という快挙があり、大いに
 血を沸かせましたが、この後援
 に当たっても、役員各位を中心
 に全会員の皆様の、母校を想う
 熱心なご協力



(社) 上田高等学校同窓会
 昭和六十三年度
会員大会(総会)のご案内
 ◎期日 八月二十七日(土)
 一、母校(松尾祭)自由参観
 一、総会及び懇親会
 会場 上田商工会議所五階ホール
 時間 午後四時より通常総会
 ひきつづき 懇親パーティ
 (学校より会場まで徒歩二分、懇親会費二、〇〇〇円)

母校に着任して

学校長 山城 昭



四月、堀端の大櫻が春の装いを初めた頃、八十八期の諸君の

材の購入など、生徒より長年希望の出でいた懸案をすべて解消し、母校の教育施設の充実に大きく貢献したこともご報告し、衷心より御礼申し上げます。
 野球部の今年の戦力については、夏の甲子園予選に先立って地元の新新聞は一齐に上田高校が軸と報道しており、私共も大いに期待しておりますが、この

会報がお手元に届くころ結果が判明することになるでしょう。本年度の総会には、どうか広い地域より広い年次にわたっての多数ご参加を期待しており、担当の実行委員会が鋭意準備を進めていますが、ぜひご参会上、大いに同窓会の意気を盛り上げ、同時に命の洗濯をして下さるよう切望しております。

紙面案内

- 2面 決算予算報告・会議報告
- 3面 叙勲受章者紹介、寄稿文
- 4・5面 支部便り、同期会便り
- 6面 伝統のクラブ活動紹介
- 7面 ふるさと便り
- 8面 事務局便り

と定められ、また、学校運営上の留意点として、一、学習ならびに生活指導の徹底 二、生徒の生命の愛護と志望の達成 三、保健管理の徹底、を挙げております。これは、昭和四十三年改正以来のもので今後この方針を引き継いで一層の発展を計りたいと思っております。
 昨年、甲子園出場の際等に表示されました、同窓生の皆様の母校への愛情に心から感謝申し上げながら、今後の一層のご協力をお願いいたしましてご挨拶いたします。

昭和63年3月末現在
 (創立88年)

卒業生総数 25,434名

古城の門

高校野球は、われわれの心を熱くさせる。その魅力もさることながら、さらにまた、威力が凄い。久々の甲子園出場は、在校生、卒業生はもちろん、多くの市民を結束させた▼音信不通の友の、消息が判明した。机を並べた仲間が、一堂に会する機会をつくった。時を越えて、年を忘れて、肩をたたき、手を握る姿がみられた。そのことが、どれほど同窓会を活性化させることか▼組織の維持発展のためにある総会や会報の存在も、甲子園の連帯の力にはかなわない。しかし学校を支える平生の地道な活動が、見えないところで「快拳」と結びついているのかも知れない。
 (龍)

機構改革による 第一回会員大会盛大に挙行

昭和六十一年度の通常総会において、卒業各期より五名宛選出の「代議員会」制度の新発足が決議され、代議員会が総会に代つて予算・決算ほか重要案件を審議することになり、六十二年度より総会は「会員大会」の形で母校の「松尾祭」にあわせ開催することに機構が改革された。

第一回会員大会は六十二年九月五日に開催され、当日午後はめいめいで後輩の情熱の結晶である「松尾祭」を自由参観し、午後四時より大体育館において総会が盛大に挙行された。

理事長・校長の挨拶、来賓祝辞のあと、甲子園報告会として竹重部長・草間監督から報告と謝辞があり、終つてプラスチックの記念演奏会が行われ、迫力ある見事な演奏で参会者に感銘を与えた。これは甲子園応援団の一環として、後援会より一千万円の助成金で多数の楽器が補強され、八十五名編成の県下随一の大プラスチックバンドが誕生し、その披露の意味での会員大会賛助出演であった。

五時から会場を大門町の「ささや」に移して、懇親パーティーが開催された。二百六十名が参加し会場は立錐の余地もない盛況で、一同久闊を叙して会場は歓談の渦となり、また、凱歌・寮歌・応援歌の大合唱が続いて時の移るのを忘れ、感激の夕

第二回代議員会開催

昨年、甲子園出場にタイムイングよく誕生した代議員会は、数回に及ぶ臨時会を開催し、寄付募集に、大応援団結成に中核となつて大活躍をし、期別団結の強さを遺憾なく発揮した年であった。

本年度の第二回通常代議員会はさる六月二十七日同窓会館一階ホールで開催された。(六月現在代議員数二百六十五名)

第一号議案 昭和六十二年度事業報告及び決算承認の件
第二号議案 昭和六十三年度事業計画及び予算承認の件
第三号議案 維持会員規定年一千円以上を二千円以上に改正の件

(社) 上田高等学校同窓会 昭和62年度 決算書 昭和63年度 決算書

◎収入の部 [単位：円]

科目	62年度決算額	63年度予算額
1. 預金利息	39,300	40,000
2. 配当金	22,080	20,000
3. 入会金	2,838,000	2,886,000
4. 維持会費	4,072,700	4,200,000
5. 会館維持負担金	460,000	400,000
6. 会報広告収入	589,800	350,000
7. 雑収入	728,130	750,000
8. 前年度繰越金	958,305	799,886
収入合計	9,708,315	9,445,886

◎支出の部

科目	62年度決算額	63年度予算額
1. 管理費	7,482,909	7,902,000
①給料手当	3,175,000	3,267,000
②旅費交通費	53,160	50,000
③支部連絡費	70,000	70,000
④総会費	1,005,800	1,000,000
⑤会議費	222,228	500,000
⑥交際費	10,000	30,000
⑦備品費	57,100	80,000
⑧消耗品費	115,495	120,000
⑨修理費	45,400	80,000
⑩通信費	1,642,070	1,700,000
⑪印刷費	316,530	300,000
⑫光熱水費	545,206	500,000
⑬退職積立金	50,000	50,000
⑭火災保険料	4,220	5,000
⑮雑費	170,700	150,000
2. 事業費	1,425,520	1,489,000
①会報発行費	300,400	350,000
②奨学金積立	0	100
③受章者記念品代	120,000	100
④転退職職員記念品代	45,500	100,000
⑤生徒入学卒業記念品代	210,820	250,000
⑥生徒学習指導助成費	706,800	719,600
⑦卒業生住所録助成費	42,000	50,000
⑧雑費	0	20,000
3. 予備費	0	54,086
4. 次年度繰越金	799,886	0
支出合計	9,708,315	9,445,886

監査報告 山寺豊一(31)・荻野幹夫(59)・島田甲子雄(65)



第四号議案 本年度の会員大会開催日時及び実行委員選任の件
以上四件、満場一致で原案どおり可決された。

実行委員名簿

きたる八月二十七日開催の第二回会員大会の実行委員会のメンバーは左記の通り。

- 48期 関 勇悟・伊藤伝兵衛・加藤精二・沓掛長次郎・工藤仁助・百瀬善彦
- 53期 笠原一洋・小池 宏・瀬下 司・名取守二郎・林 和弘・柳沢公則
- 58期 龍野彰宏・川村英紀・工藤洋三・小林紘一郎・桜井 洋・村上 肇
- 63期 榎田 豊・土山美吉・西沢文登・羽田健一郎・柳町長文
- 68期 押森弘文・越川睦美・関 次郎・塚田秀美・山岸正幸

33期 (昭和9年3月卒業)

<p>代表取締役 丸 山 一也</p> <p>上田中央三二一(原町) ☎(〇六八)二二一〇六七六</p>	<p>代表理事 柳 沢 理 一郎</p> <p>上田中央西一一一五一一四 ☎(〇六八)二二一六四七</p>	<p>代表取締役社長 中 村 辰 男</p> <p>長野市西長野往生地一三七八 ☎(〇六八)三二一三六九六</p>	<p>代表取締役社長 土 屋 敦 博</p> <p>上田中央二四一一二(海野町) ☎(〇六八)二二七七七七</p>	<p>代表取締役社長 関 透</p> <p>東部町大字常田一三六 ☎(〇六八)六一〇一五八</p>	<p>代表取締役社長 近 藤</p>	<p>代表取締役社長 東部青果株式会社</p>
--------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	------------------------	-----------------------------

プロとアマの大きな差

日本棋院棋士

中山 典之 (49期)



三十年の昔、上田松尾高校在学中に覚えた碁がやたらと面白くなり、とうとうその道でメシを食うことになってしまった。何の道でもそうだがプロとアマでは力が違う。囲碁の場合特にその差が甚だしく、アマの

各界で活躍する同窓生寄稿

利口に生きたい

ジェムコ日本経営社長

佐藤 良 (42期)



私も仕事の関係で世界各国の当社の支社や得意先の商社を廻るが、B国での国家戦略を見て日本と比較し、この国と日本とどちらが利口か人間の真の幸福とは何かを大いに考えさせられる。最近日本は世界一金持ちにな

中山五段(プロ)の場合は、碁を覚えて一、二年で信州ではトッブクラスになったが、自分の力がまだプロでは十級位しかないとは知る由もなく、上京してプロテストに挑戦すること実に九年。九回目によくやくプロ初段になったがその時は満二十九歳。これは最年長のレコードだった。それから二段三段と牛の歩みの如く進んで今は五段だが、経済的にも大いに苦しいから、あなた方がいくら碁が好きでも、プロ棋士にだけはならない方が正解だと言っておく。

初段のままという場合もあるのが現実の姿である。私の場合、十年ほど前にチョイと随筆を書いたところ、これがマスコミの眼にとまり次から次と原稿の依頼が舞い込むようになった。目下のところ収入の九割は原稿料だが、文士生活も脳味噌をしぼるところは棋士と同様でやはり頭が痛い。世の中に楽な仕事はなかなかないようである。書いた本はもう七十冊ほどになるが、一昨年岩波新書で出した「囲碁の世界」はもう十一版、十万部ほど売れた。囲碁は今や世界の文化であるが、知らぬ人はまことにお気の毒と

思う。(丸子町出身)

なつたという。しかしB国は世界各国から金を借り大変な債務国であるにもかかわらず、やることは実に大きい。国境に巨大なダムを作った。大きな発電所を建設した。発電機は全部で十基つけられるのだが未だ一基だけでこれで充分大都市の電力がまかなえる。あと九基は二十一世紀以降必要により徐々につけて行けばよいと言っている。石油は掘っていったら無くな

る。しかし自動車のガソリンは砂糖キビからアルコールを造りこれで車を走らせようと全車輛の八〇パーセントが砂糖キビで走っている。砂糖キビはリサイクルがきく。しかし増産する砂糖キビに取られた畠を他に求めなくてはならない。そこで国の中央にある高地の農地転用を積極的に進めている。このことも何世紀も先のことを考えて、ほぼ日本の全面積に近い農地を作り上げるのだと言っている。世界各国より払い切れない程の金を借りて自国の百年の計を着々と実施しているのだが、金余りでも目先の利益だけに汲々として

いる日本の経済活動と、どちらが利口でどちらが将来幸福になるのだろうか。これからの日本はレジャーや消費に力を入れるべきだという人も多いが、アメリカの失敗をまねることもあるまい。税制改革も教育改革も高年齢者対策も目先ではなく国家百年のビジョンを打ち樹て実施していかなければならない。このまま

受章者ご芳名

昭和62年秋叙勲	栗林英雄氏 (21期)	勲五等瑞宝章
	(故)滝沢武夫氏 (23期)	勲五等双光旭日章
	砂田昌寿氏 (34期)	勲四等瑞宝章
	金子八郎氏 (39期)	藍綬褒章
	松葉邦男氏 (49期)	藍綬褒章
昭和63年春叙勲	小松周吉氏 (33期)	勲三等旭日中綬章
	戸叶邦晴氏 (34期)	勲四等瑞宝章

三八会

(38期)

上田明照会会長

呈蓮寺住職 横内静雄

〇六六二二一八九五九

(株)世界の珍珠 上野屋

代表取締役 上野義一

〇六六二二一八七八七

(株)メンズライフ・タカハシ

代表取締役 高橋貞一

〇六六二二一〇六〇五

上田観光自動車株

取締役社長 中島英男

〇六六二二一〇二二二

ワカバ工業株

代表取締役 坂下要助

〇六六二二七三三〇三

十月、東塩田林間工業団地へ移転予定

「冬季オリンピック」

長野で開催の悲願

長野県総務部長 小山峰 男(51期)



上田松尾高校を卒業して、三十五年が過ぎようとしています。当時を振り返ってみますと、高校も変り(女生徒が約四割とか、当時はゼロ)、世の中も随分変わったものと今更ながら、時の流れに驚きを禁じ得ません。

その後県庁に入ってから三十年、高速道に新幹線、空港整備に大規模イベント、東山魁夷画伯作品展示館に文化会館の建設と、さらに冬季オリンピックの招致と、他県にも例をみないような目じる押しの大プロジェクトに振り廻されている毎日です。

お陰様で県民の五十年にわたる悲願でありました冬季五輪の

シンボルマークの作者は同窓生



冬季オリンピック長野招致運動のシンボルマークは、信州の山に五輪の五色を配したデザインで、県民に非常に親しまれ好評を得ているが、これは63回卒の小林秀夫氏の作である。小諸市平原出身。信大教育学部卒。現在岩村田小学校勤務。

オリンピックは、スポーツの祭典、平和の祭典と云われておりますが、この開催は、閉鎖的な長野県にとって、また長野県人にとって、大きな文化的影響を与えることになるだろうと思えます。

一例ですが、すでに各地において英会話の教室が盛んになってきており、県民意識はかなり変わって来ていると思えますし、活性化して来ていると思います。オリンピック開催の成功は、世界に向かって開かれた長野にならないかと思えます。二十一世紀に向け、新しい長野県を次代に引継ぐための努力をしたいものです。

卒業記念事業

各期活発な動き

本年三月をもって第26期卒業60周年、36期50年、46期40年、56期30年、66期20年をそれぞれ迎えて、各期は意欲的に記念事業に取り組んでいるが、事務局に寄せられたものは次の通り。

【26期】卒業還暦を迎え、昨年10月15日、夫人10名を含む44名の記録的参会者を得て母校に集合。記念撮影の後信州の鎌倉塩田平の観光を行い別所花屋ホテルで同朋会。二日間野趣満々の山菜料理と故郷の匂いを満喫して、この機会に記念文集を発売することを申し合わせ解散した。

【36期】この期は10年毎にキチンと母校に寄付を行っている模範的な期。今度の50周年には校門左右の堀の土手一面に植樹して「つじ園」を寄贈した。36期ならではのユニークな着想で、今年五月に赤白青一斉に花が開き、道行く人の目を惹き寄せ登下校の生徒を和ませた。養生を怠らずしっかり根付けば、数年後には上田名物の一つになりそうである。

【56期】30周年を迎え、8組及び定時制から各2名計18名の記念事業実行委員会が既に結成されて取り組んでいる。現在の計画としては①同期生名簿の発行②8月下旬母校の松尾祭にあわせて、恩師を招待して同期会を開催③母校への記念品として予算二百万円を事典・図鑑・大系・全集等を寄贈して学校図書館の充実をはかる、等である。

【62期】25周年にあたり、同期生の美術家である竹田潔氏による「造形作品」を寄贈することになった。母校では既に飾る場所を決めて待っている。

OB会通信

☆スキー部 事業は総会と二月の親睦スキー大会。(事務局) 中央2-2-14 伴一彦方。

☆軟式庭球部 母校の軟式庭球班が62年度「日庭連優良団体賞」に輝いた祝賀会を八月二十七日「ささや」にて開催。翌日親睦試合。(事務局) 常磐城1-1-45 富貴内 星谷博信方。

☆硬式庭球部 総会八月。午前九時より市宮コートにて親睦試合。午後六時より総会と親睦会開催。(事務局) 中央西1-11-1 小山秀喜方。

☆バドミントン部 八月十三日夏季総会と親睦試合。一月二日冬季総会。(事務局) 諏訪形914-4 西沢員昭方。

☆剣道部 事業は現役への直接指導と会報発行(事務局) 大手1-4-32 上田高校長谷川良一方。

☆バレーボール部 九月に総会開催。(事務局) 中央2-14-1 内山広延方。

【68期】去る6月25日、卒業後初めての同期会を県内在住者を中心に上山田温泉で開催。何人集まるか不安であったが、32名の盛況で大成功であった。今後益々輪を広げて充実させること、二年後にくる卒業20周年の節目には、盛大な記念事業を行うことなど、衆議一決した。

長野県繭糸業組合連合会

会長 小林 忠 司 (43期)

小諸市大手二丁目六一一三
☎(026)221-0133(代)

武田味噌醸造株式会社

代表取締役 武田 兵 助 (43期)

上田市中央四一二二二一
☎(026)221-2280(代)

有限会社 琴光堂楽器店

代表取締役 古畑 時 生 (43期)

上田市中央二丁目(海野町)
☎(026)221-0470

MITSUBISHI

株式会社 マルチポート千曲

代表取締役 湯原 理 三 (43期)

上田市天神二丁目一三二一 (OAUビル)
☎(026)221-3232(代)

甲子園出場で結束深める 伝統の底力、関東同窓会

会長 小林 郷 司 (40期)

(一)甲子園出場の感激
昨年七月二十八日、松本県営球場で感激の花吹雪が舞った瞬間、関東同窓会は30年ぶりの甲子園出場に感動の坩堝と化した。帰京するや直ちに檄文を飛ばして浄財を募ると共に、甲子園への応援参加を呼びかけた。これが為に役員委員を総動員し、関東同窓会本部へ早朝から深夜まで、連日三十数名が詰めていただき、戦場のような騒ぎの中で終始献身的な活躍をされた姿

(二)会報年二回発行

有料会員制により全同窓生に配布することに伴い、会報は年一回と考えたが、甲子園出場を機に二回とし、38号・39号を八千部印刷、会員並びに在校生、

盛り上がる長野支部

幹事長 木内 吉弘 (44期—5)

「七夕会」の別名で親しまれている長野支部総会は、今年も

七月七日、長野市岡田町の山王共済会館で盛大に開催された。今回は過去最高の九十人が出席したが、昨年夏、母校野球部の甲子園出場によって、同窓生の連帯感が一層深まったように思われる。ご来賓は同窓会本部の金子理事長・水野副理事長・甲田理事、関東同窓会の柳沢副会長、母校より細川教頭・田中先生、さらに金子前校長の七氏にご出席賜わった。



総会では、小林已根夫支部長より本年は最高の盛り上がりであ

本部へ配送した。
(三)第27回総会開催
去る六月二十七日(火)、昨年に続いて一ツ橋如水会館において、三百名参加のもとに盛大に総会を挙行した。本部から金子

理事長を始め小林副理事長その他理事諸兄、母校から山城昭校長を始め新卒担当の諸先生のご参加を賜わり、それぞれ心暖まるご祝辞を頂き恐縮の極みであった。

終わりに、関東同窓会は甲子園出場を機に、いよいよ連帯結束を深めたことをご報告いたし今後共本会に対しより一層の暖かいご支援のほどを切にお願い申し上げます。

も母校野球部の甲子園連続出場を祈り、互いに来年の七夕の日に再会を約して閉会となった。
北御牧村長に
小山 治氏 (49期)

昨年十二月北佐久郡北御牧村は無投票で小山氏を村長に選出した。人参・栗草の卸業を興し、村の特産品を広めていた氏は、地方政治に関心が深く、村議一期を経て働き盛りの首長となった。地型的難を越え、農と工の境界にある地理的有利性を活かした個性ある村づくりが期待されている。

海外短信
蒲生秀也氏 (40期)
カリフォルニア大学アーバインのESL(留学前の短期英語学習機関)は大変評判が良く、日本の高校、大学生も何人も来ておりホームステイしています。ロス・アンゼルス市のUCLAやUSCより生活環境が良く、治安の面でも心配が少ないのが特色の一つでしょう。

上田高校の同窓生のご子弟でESLを希望している方がありましたら、お便宜をはかりたいと思いますのでご連絡下さい。(踏入学身 東大卒。カリフォルニア州立大学電気工学部教授。光ファイバーの権威者)

北海道支部長
宮坂幸男氏逝去
昨六十二年十月急逝されました。長い間最も遠隔地の支部長として、札幌周辺の同窓生をまとめられ、甲子園寄付も一番早く本部に寄せるなど、大変熱心な方で多大の功績を残されました。謹んで哀悼の意を捧げます。北大卒。東部町本海野出身(㈱アイビー社長。(32期))

寄贈冊子(事務局)
○30期 パンフレット「レッツゴー昭六会総会」この期は毎年定例で七月上旬同期会を持ち、本年度は七月五日上山田温泉上山田ホテルにて一泊。
○32期 「上中32会名簿」総頁一七四名・物故者四六名・住所不明一名
○36期 記念文集「古城の門」
○57期 「卒業生名簿」1組五一名、2組五二名、3組五一一名、4組五三名、5組五二名、6組五二名、7組五一一名、8組五三名 総計四一五名
○31期 小山一平著「往時茫茫」ふるさと鼠宿の山河で跳びまわった幼少の想い出、次第に戦争に狩り立てられてゆく貧困な農村農民の中で過ごした多感な青春期など、多忙な国会議員生活の寸暇に書き綴った郷愁と哀歓とロマンに満ちた、平和を希求する随筆の収録。

信州の美酒……

明峰 森久 盛

信州銘醸株式会社
小泉郡九子町大字長瀬
☎(0268)35-0046番(代)
代表取締役 工藤 仁助 (48期)

上田ガス株式会社

社長 伊藤 博兵衛 (48期)
専務 滝 沢 武 (53期)
取締役 清 水 潤 (57期)
取締役 武 笠 隼 雄 (48期)

上田市天神四―二九―三
☎(〇三六)二一〇四五(代)

関歯科医院

関 勇 悟 (48期)

上田市上田原八九四
☎(〇三六)二四一八一―八

伝統のクラブ活動紹介

第五回日中青少年学生交流大会に

参加

ハンドボール班

昨年十二月二十四日から新年の二日まで、過去の実績(インターハイ20回出場等)を評価されて日本代表に選ばれ、中国を訪問して友好親善に寄与する機会を得ました。時あたかも本校ハンドボール班創立四十周年にあたり、創立当初のコーチであった私としては感慨一入です。交流試合は、中国選手の高さとパワーそして果敢な突進力にと

まどい、一分け四敗と圧倒されましたが体力差、年齢差をよそに善戦健闘、上田らしいプレーの片鱗を示しました。また万里の長城、天安門広場、人民大会堂、故宮等、中国悠久の歴史の一端を学びました。



天安門広場にて

金子前校長を団長に、監督中沢、総務山崎、選手15名、女子マネージャー2名総勢20名が参加いたしました。いろいろとご援助を賜わった同窓会、PT

四川省四姑娘山に

挑戦

山岳班

長野県高校生訪中登山交流会に山岳班生徒二人、顧問一人が参加することになった。中国四川省成都の西、日隆よりさらに山岳地帯にある四姑娘(スークリーニャン、主峰六二五〇メートル)山城を目指し、七月二十六日神戸港出発、八月十

五日帰着の予定である。隊員の健康状態と天候が許せば太姑娘(タークーニャン、五〇二五メートル)山にも登る予定だが登顶のみが目的ではない。県下の高校山岳部八校から十六名(男十、女六名)と顧問など総数二十九名の隊である。長野県山岳協会が主催し信濃高等学校教職員山岳会が主管する。八回におよぶ隊員会議を通して大きく夢をふくらませて、貴重な人生体験を楽しみにしている。

A、O B会に班員ともども衷心より感謝申し上げ、今後一層の努力精進を続ける決意です。(監督中沢正巳)

十年連続全国大会へ

囲碁将棋班

今年には囲碁の女子団体と個人及び将棋の個人が県大会で優勝し、八月の全国大会に出場することになりました。

囲碁の全国大会では、女子団体が過去に二回準決勝に進出し(56・57年)、昨年は第六位に入賞しました。本年は昨年以上の実力を備えていますので、上位入賞をめざしています。

昭和六十三年 主なクラブの戦績

- 陸上競技班 一五〇メートル県大会一位 北信越大会五位 全国大会へ。
- 走幅跳県大会六位
- ハンドボール班 県大会二位 北信越大会に出場
- サッカー班 県大会二位 北信越大会出場
- 山岳班 県大会五位
- 柔道班 県大会個人戦軽量量級五位 北信越大会出場
- 剣道班 県大会個人戦ベスト8に一名
- 体操班 県大会個人六位
- 卓球班 県大会個人戦男子シングルス十二位
- 男子バスケットボール班 県大会出場
- ソフトボール班 県大会出場
- 硬式テニス班 県大会出場
- 男子バレー班 県大会出場
- 水泳班 男子四百メートルリレー 県大会四位 北信越大会へ。女子百メートル背泳 県大会五位、同二百メートル 県大会四位、北信越大会へ。四百メートル個人メドレー 県大会六位 北信越大会へ。
- 囲碁将棋班 囲碁県大会団体女子 優勝 同団体男子 準優勝 個人男子ベスト8二人 個人女子一位、二位、三位 将棋 県大会団体ベスト4 県大会個人 優勝

大先輩の方々が組織してくださった囲碁部後援会が、物心・技にわたる暖かいご援助、ご指導をしてくださっていることに班員一同いつも感謝申し上げます。

囲碁の全国大会では、女子団体が過去に二回準決勝に進出し(56・57年)、昨年は第六位に入賞しました。本年は昨年以上の実力を備えていますので、上位入賞をめざしています。

「はばたけ若人 北の大地に」第三十七回インターハイ冬季大会が旭川市で開催されました。

複合五位、
純ジャンプ六位
スキー班

頑張ってます!

53期

元気です!

- 青上山 俊浩 井上 敏之 今井 克夫 兔島 恒夫 沖島 真洋 長尾 洋一 掛川 恒雄 笠原 一宣 久保 泰宏 倉島 多喜夫 小池 徳一 小林 敏彦 小森 善処 小松 厚彦 桜井 善彦 佐藤 敏彦 清水 善彦 瀨下 善彦 高遠 善彦 滝沢 善彦 中沢 善彦 中山 善彦 名取 善彦 西沢 善彦 花岡 善彦 林和 哲弘 南沢 哲弘 宮島 哲弘 柳沢 哲弘 山極 哲弘 山田 哲弘 吉田 哲弘 米津 哲弘
- とれた方のみで失礼。

ふるさと便り

活気づく千曲川左岸地域！

平井寺トンネル、リサーチパーク建設など…

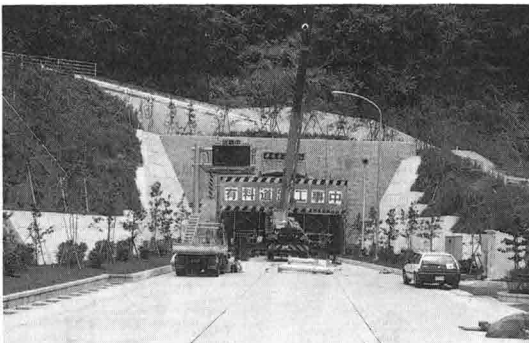
この八月二十五日、塩田の平井寺と丸子町東内を結ぶ平井寺トンネルが開通する。平井寺トンネルは、長さ一三〇〇メートルで、上田から松本へのルートが二〇分短縮されるという。平井寺・鈴子あたりの道路も拡幅整備され、開通の日を待っている。

更に塩田の下之郷地区には、浅間テクノポリス構想の中核となる上田リサーチパークの建設が予定され、既に外周測量が始まった。これによる工業団地造成計画は第一次だけで五十一ha。

既に十二社が操業している東塩田林間工業団地も拡大の計画があり、五年先位には全く様変わりした塩田平となるだろう。川西地区にも工業団地造成の計画が進んでおり、既に小泉には県が七・六haのミニ工業団地を造成した。また、小泉には川西ショッピングセンターが、川辺地区にはツルヤ上田原店が建設中で、他にも大手の進出が計画され、商業面でも大きく地図を塗りかえようとしている。

塩田平にもスーパーの進出が計画されているが、大型店ばかりでなく、特に川辺・上田原地区には、靴書籍などの専門店、自動車会社、飲食店、それに金融機関などの進出が非常に活発で、金融機関の顧客獲得競争などは、まさに「現代の上田原合戦」の様相である。

今、塩田平を中心に、川辺・上田原・川西地区など千曲川左岸地域は、画期的な変貌を遂げようとしている。



靴ピッチで工事が進む平井寺トンネル(丸子口)



太郎山のふもとに開通した上田バイパス

上田バイパス、神科まで開通

かねて上田市街地の交通渋滞は長野県下一といわれ、運送業者などには、不詳の声が高かった。そういった中、上田バイパスの早期開通は上田市民共通の願いであった。

本年三月、その願いが実現した。昭和四十四年、ルート調整に着手されてから実に九年を要しての開通である。

今回開通のルートは、国道18号線上塩尻地区から生塚・新田・山口・蛇沢を経て住吉までの総延長五六〇〇mで、浅間山麓広

域農道につながり、一番の懸案だった蛇沢地区は高架橋を使っている。平均道路幅は9m、歩道も完備され、快適に走行できるよう工夫されている。

三月の開通以来、市街地の渋滞はかなり緩和されたが、本海野までの全線開通、篠ノ井バイパスの着工が待たれる。



橋桁が美しい坂城大橋

坂城に相次ぎ大橋完成

ユニークな工業都市として有名な坂城町に、七月十九日、鼠が千曲川に架かる町内四本目の橋として開通した。従来の橋は珍しい吊橋であったが、台風で流されてしまい、この程総長三八六mの本格的長大橋として架橋されたものである。

これに先立ち、昨年十一月、昭和橋に併設される形で坂城大橋が完成しており、国道18号線

と県道18号上田稲荷山線を結ぶ交通が一気に便利となり、産業振興に一役買うものと期待される。

ふるさとの古典芸能

別所温泉の三頭獅子と籠踊り

別所温泉では、毎年七月中旬の日曜日に雨ごい行事の「岳の轆が行われるが、三頭獅子の舞と少女達の籠(かさ)踊りも一緒に披露される。花笠に浴衣、そろいの手甲・脚半の少女達が愛らしい。



58期(昭和35年3月)卒業生の皆様へ！

二年後、わたしたちは卒業30周年を迎えます。これに向けて、58期会(仮称)を組織し、末長く結束をはかると共に、さまざまな対応に備えたいと思います。

つきましては、下記の通り創立総会を予定しております。今からご予約いただき、多数ご参集くださいますようお願いいたします。

日時 昭和64年1月21日(土)
場所 上田温泉

58期会発足準備会

- | | | | |
|-------|------|---|-------------------|
| 代表 | 龍野彰 | 宏 | 22-6001 |
| クラス幹事 | | | |
| 1組 | 村上肇 | | 22-0041 |
| 2組 | 内堀勝年 | | 35-0263
(0267) |
| 3組 | 桜井洋 | | 62-1212 |
| 4組 | 若林忠徳 | | 38-2505 |
| 5組 | 工藤洋三 | | 42-6600 |
| 6組 | 川村英紀 | | 22-8686
(0263) |
| 7組 | 古川隆平 | | 67-2171 |
| 8組 | 西川稔 | | 22-1802 |

同窓会維持会費

一人年二千円以上に
代議員会で規定改正

同窓会の運営及び同窓会館維持のための財源は、(一)維持会費収入(二)会館使用料収入(三)新入生入会金収入の三科目であるが、(一)の維持会費は同窓各位のご理解のもとに年々少しずつ伸びて、六十二年度は二千六百名の会員から四百万円を送金いただいている。しかし(二)の会館一般使用料収入は、市内に近代的な施設が次々とできるに及んで数年来急激な落ち込みとなり、その収入減を補う程に維持会費が伸びないと、ころから、同窓会の財政はピンチに陥って来た。この件について去る六月二十七日の代議員会において討議され、増収を図るために「維持会員規定」の一人

会員名簿の類似品にご注意

最近、上田高校卒業生名簿を最近、上田高校卒業生名簿を注意の上キツパリお断わり下さい。

正式の会員名簿は十年毎に新しく作成し、次回は六十五年の創立九十周年に発刊します。既に準備作業に入っていますが、十年の間には二万五千人の内約四分の一の方が、職業なり住所なりが変わって、改訂は大変な作業です。できる限り正確なもの

ちよつとオアシス!!

上田商工会議所横のロータリーに小公園ができ、市民に一時の涼を呼び、好評である。



40期画期的文集発刊!

このたび40期生による文集「古城の門」が出来あがり、去る6月25日菅平「野明山荘」で開催された同期会において発表された。

文集の中身は南雲・安田両恩師の特別寄稿のほか、実に101名に及ぶ同期生が長文を寄稿して、140頁を超える大作となっている。在上中の往時の想い出・戦前戦後のかん難辛苦・越し方人生懐古録・現在の心境吐露など内容は様々であるが、いずれも心を打つ力作である。その上驚いたことに、上中時代の学年別教科別の先生方の住所録や在校当時の出身町村別統計など、希少かつ詳細な保存資料が幾種か添付され感嘆に値する。小宮山裕氏を長とする編集委員のご苦勞は想像に余りあるが、同窓会80周年の歴史の中でも画期的文集であることは間違いない。後輩に良き見本を示唆して意義がある。

- 水野 春海 42
横山 二男 47
田中 栄二 51
龍野 彰宏 58
増田 幸一 64
小林 光夫 66
佐藤 専太郎
青島 二郎
田辺 昭夫
西沢 文登
渡辺 規夫

同窓会報編集委員

梅雨空の下、第二回代議員会が終って会員大会の日程が決まると、さあ会報発行と、いつものことながら一カ月足らずの日程の中で編集委員は大わらわ。あっちこっちに無理をいい、小さなスペースを活かすため記事をはめたりはずしたり。校正を終えてほっと一息。今年は予想外に低温の夏だ。いまだに太郎山の頂もみえない雨雲の下で、いま夏まつりが真盛り。(青)

同窓会事務局
電話(0268)221324

同窓会頒布図書のご案内

- 1. 会員名簿 昭和55年版 3,000円
2. 上田高等学校史「草創編」 1,500円
3. 上田高等学校史「中学前編」 3,000円
4. 上田高等学校史「中学後編」 3,000円
5. 前編・後編一括購入の場合 5,000円
6. 高校風土記「上田高校ものがたり」 1,800円
7. 上田高校柔和会史 5,000円

郵便振替口座 長野10378
〒386 上田市大手1-9-8 上田高校同窓会館
TEL (0268) 22-3146

編集後記

梅雨空の下、第二回代議員会が終って会員大会の日程が決まると、さあ会報発行と、いつものことながら一カ月足らずの日程の中で編集委員は大わらわ。あっちこっちに無理をいい、小さなスペースを活かすため記事をはめたりはずしたり。校正を終えてほっと一息。今年は予想外に低温の夏だ。いまだに太郎山の頂もみえない雨雲の下で、いま夏まつりが真盛り。(青)

建築設計・監理

株式会社

環建築アトリエ

代表取締役 権田 豊 (63期)

上田中央1-2-7
(0268) 24-1868

上田製菓株式会社
上田中央4丁目18-34 TEL 24557
ハニードール

代表取締役 土山 吉次 (40期)
取締役 土山 美吉 (63期)

